

## 令和3年度 第2回学校運営協議会 議事概要

- 1 日 時 令和3年10月29日(金)  
開会 9時58分 閉会 11時33分
- 2 場 所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者 委員 稲田 秀知 委員 福本 泰久  
委員 恵谷 栄一 委員 藤原 直之  
委員 大川 佳郎 委員 前野 慶次  
委員 田中 久美 委員 山根 一人  
委員 豊田 啓介 委員 山本 育子  
委員 東 りえ 委員 多田 一也
- 事務局 教 頭 橋本文彦  
主幹教諭 守屋 泰志  
指導教諭 竜門 巧、岡本 崇志  
事務長 立野 弥生

### 4 議事の概要

#### 開会

##### (1) 説明

事務局担当者から、学校経営計画及び目標達成に向けた具体的方策の中間期までの取組について、教職員対象の中間評価アンケート結果についてそれぞれ説明した。

##### (2) 協議

令和4年度入学生に係る三つの方針について、事務局云う担当者から説明のうえ、協議した。  
委員から特段の質問や意見はなかった。

##### (3) 意見交換

3グループに分かれて、①実社会と繋がったキャリア教育、②実社会から見た玉野高校の学校づくりの2点について各委員で意見交換を行った。

##### ○ キャリア教育、特に体験的な活動

- ・ OBやOGを活用して積極的に推進するとともに、活動の目的を明確にする必要がある。
- ・ 「系」の特色に合わせた体験活動や、その受入先の開拓が必要である。

##### ○ 身に付けて欲しい能力

- ・ 人間性や積極性を育てて欲しい。「失敗を恐れずやってみよう」という意識を学校の中でもっと育てて欲しい。
- ・ 日々の授業の中でも、自分で考えてコミュニケーションをとっていくことが大切である。

##### ○ プラン

- ・ 玉野市内の地区ごとに課題を出し合う場がある。高校生自身が我が問題としてそれらの課題の原因究明や解決策、解決のための連携先など、実際の問題として取り組むのはどうか。
- ・ 企業では「顧客ニーズ」に合わせる事が求められる。来る生徒に適した学系になっているかの見直しは常に必要である。

##### ○ 広報

- ・ 高校生のアイデアで、高校生から中学生へ訴えるのが良いのではないか。
- ・ もっと広報活動をする必要がある。行政広報紙にページを割いてもらってイベント告知を積極的にアピールする等、チャンネルを増やす必要がある。
- ・ 持続可能な形で、もっと玉野高校のオリジナリティ、何か特化したものを出す必要がある。

#### 閉会